

報告事項(2)

【齋藤茂委員 質問】

4・5ページ中、アウトカム評価とアウトプット評価は、最初に作られた平成29年までの資料で、規定をどのようにされているのか。

アウトプットの評価というのは、質より数的なものを重視するものと認識している。

それに対して、アウトカム評価というものは、成果や結論、単なる数ではなくて、どの程度達成されたのかと、あえてこの評価を中長期目標の中ではアウトカム評価、あるいは短期目標の中ではアウトプット評価と分けて考えているのか。

【令和3年8月23日 藤崎健康づくり課長 文書回答】

「富津市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」に基づき4つの指標に規定されている内容で評価しました。

齋藤委員の貴重なご意見につきましては、今後計画策定の際に参考とさせていただきます。

<抜粋>富津市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)

P49 評価方法・体制

保険者は、健診・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図ることが求められており、保険者努力支援制度においても4つの指標での評価が求められているため、これに基づいて行う。

※評価における4つの指標

ストラクチャー (保健事業実施のための体制・システムを整えているか)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の運営状況を定期的に管理できる体制を整備しているか(予算等も含む) ・保健指導実施のための専門職の配置 ・KDB(国保データベースシステム)活用環境の確保
プロセス (保健事業の実施過程)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導等の手順・教材はそろっているか ・必要なデータは入手できているか ・スケジュール通り行われているか
アウトプット (保健事業の実施量)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率、特定保健指導率 ・計画した保健事業を実施したか ・保健指導実施数、受診勧奨実施数など
アウトカム (成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した目標に達することができたか (検査データの変化、医療費の変化、糖尿病等生活習慣病の有病者の変化、要介護率など)

具体的な評価方法は、KDBに毎月収載される、健診・医療・介護のデータに基づき地区担当の保健師が確認し、受診率・受療率・医療の動向等を定期的に評価していく。

また、特定健診の国への実績報告後のデータを用いて、経年比較を行うとともに、個々の健診結果の改善度を評価する。